



## リサイクル事情



# ガーナ

## BOP層実態調査レポート

### 出張者が見たガーナ

ガーナはジョン・アッタ・ミルズ大統領(2009-12年)の時に行われた「政権着任後100日以内にガーナ国内を清潔にする」というプロジェクトにより、前政権時に比べて路上のゴミが減っている。

訪問したアクラの低所得者層の居住地区の一つであるNima地区で袋に詰められたIcePak(袋入飲料水、一袋500ml)の回収ゴミがあった。リサイクル屋で一袋7セディ(約290円)に換金できるそうである。



アクラは自転車が多い。自転車の中には日本の放置自転車が輸入され販売されているものもあった。放置自転車の輸出は在日ガーナ人により行われているビジネスの一つである。日本の放置自転車は修繕されて、1台1万5千円程度で販売されていた。



街頭販売されている自転車



自転車に乗るガーナ人

欧州から大量に輸出された電気電子機器の中古品や廃棄物(e-waste)から銅線などを取り出す作業で生じる煙害や労働者への健康被害などが数年来問題になっている。